

2025 年度 授業コード: 21104000

授業科目	*成人看護学演習					実務家教員担当科目	○				
単位	2	履修	必修	開講年次	3	開講時期	前期				
担当教員	原 頼子／高橋 甲枝／中原 智美／財津 倫子										
授業概要	実務者教員として、急性期あるいは慢性期医療を担う施設で臨床看護師としての経験を有し、さらに臨地実習指導経験をもとに講義・演習を行います。 本科目は2コマ続きで、反転授業にて演習を行います。 1. 健康障害を抱えた成人期にある患者・家族に対し、療養生活を支援するために模擬患者情報を用いた看護過程を展開し、看護上の問題解決の手法と看護実践について演習します。 2. 反転授業と主体的な協同学習活動で進めます。 3. 成人期における療養生活を支援するための生活援助技術、診療補助技術、セルフケア確立技術等の基本的看護技術について演習します。										
授業形態	対面授業				授業方法	反転授業、グループワーク、シミュレーション、Classroom（課題のコメントを行い自己学習支援）					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. 壮年期・中年期の身体、心理、社会的特徴についてアセスメントし、患者の全体像をとらえ説明できる。(DP1-2)(DP2-1) 2. 看護上の問題を明確にし、個別性をふまえ、安全・安楽に配慮した看護計画を立案することができる。(DP2-1) 3. 計画に基づいて看護を実施し、評価・修正をすることができる。(DP2-1) 4. 治療をしながら生活する人への支援と多職種と協働・連携する必要性を説明することができる。(DP3-2) 5. 家族システムをアセスメントし、家族への支援の必要性を説明することができる。(DP3-2) 6. 看護専門職としてふさわしい態度を身につけることができる。(DP4-1)(DP4-2) 7. 成人期の模擬患者に必要な看護技術を修得することができる。(DP2-1)(DP3-1)(DP3-2)(DP4-1)(DP4-2)										
理想的レベル	主体的に学習し、看護過程および技術演習に関する目標を80%以上達成している。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験			41								
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物			29				看護過程ファイル				
その他			30				看護技術課題、演習内容				
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NU31314J

学習課題（予習・復習）		1回の目安時間（時間）
看護課程の演習課題および技術演習の課題はその都度説明を行う		1
授業計画		
第1回	オリエンテーション 演習概要説明 看護過程（急性期）①（担当：全教員） ・初回オリエンテーション（高橋） ・課題の解説と説明（財津） ・アセスメントの検討	
第2回	看護過程（急性期）①（全教員） ・データベースアセスメントの解説とフォーカスアセスメントの説明	
第3回	看護技術演習（担当：全教員） 第3回と第4回は連続して行う。 A・Bの2グループに分かれ技術演習① A：手術直後の観察・援助 B：血糖測定・自己インスリン注射	
第4回	看護技術演習（担当：全教員） A・Bの2グループに分かれ演習② A：手術直後の観察・援助 B：血糖測定・自己インスリン注射	
第5回	看護技術演習（担当：全教員） 第5回と第6回は連続して行う。 A・Bの2グループに分かれ演習① A：血糖測定・自己インスリン注射 B：手術直後の観察・援助	
第6回	看護技術演習（担当：全教員） A・Bの2グループに分かれ演習② A：血糖測定・自己インスリン注射 B：手術直後の観察・援助	
第7回	看護技術演習（担当：全教員） 術後の観察 練習・確認①	
第8回	看護技術演習（担当：全教員） 術後の観察 練習・確認・まとめ②	
第9回	看護過程（急性期）②（担当：全教員） ・課題の解説と全体像と統合・看護問題の明確化の説明（財津） ・グループワーク：全体像と統合・看護問題の明確化	
第10回	看護過程（急性期）②（担当：全教員） ・グループワーク：全体像と統合・看護問題の明確化	
第11回	看護過程（急性期）③（担当：全教員）	

	・課題の解説（財津） ・グループワーク（全教員）
第12回	看護過程（急性期）③（全教員） グループワーク ・全体像の修正 ・統合の過程の修正 ・看護問題の明確化の修正 ・問題リストの修正
第13回	看護過程（急性期）④（担当：全教員） ・看護目標・看護計画の視点について説明（財津） ・グループワーク（全教員） ・看護目標設定 ・看護計画立案
第14回	看護過程（急性期）④（担当：全教員） グループワーク ・看護目標設定 ・看護計画立案
第15回	看護過程（急性期）⑤（担当：全教員） ・看護目標・看護計画 発表資料作成
第16回	看護過程（急性期）⑤（担当：全教員） ・看護目標・看護計画 発表 ・意見交換 ・看護目標・看護計画の解説（財津）
第17回	看護技術演習 （担当：全教員） 術後の清潔ケア・離床①
第18回	看護技術演習 （担当：全教員） 術後の清潔ケア・離床・まとめ②
第19回	看護技術演習 （担当：外部講師、高橋、財津、中原、坂本、梅本） ストーマ造設した患者の看護①＊
第20回	看護技術演習 （担当：高橋、財津、中原、坂本、梅本） ストーマ造設した患者の看護②＊
第21回	看護過程（慢性期）①（担当：全教員） 解説と説明（中原） ・患者および治療の理解 ・アセスメントのポイント ・関連図
第22回	看護過程（慢性期）①（担当：全教員） グループワーク

	・アセスメント 11 パターンの修正 ・関連図の修正
第 23 回	看護過程（慢性期）②（担当：全教員） 解説と説明（中原） ・統合の過程 ・看護問題の明確化 ・問題リスト グループワーク ・アセスメント・関連図の修正 ・統合の課程、看護問題の明確化の修正 ・問題リストの修正
第 24 回	看護過程（慢性期）②（担当：全教員） グループワーク ・アセスメント・関連図の修正 ・統合の課程、看護問題の明確化の修正 ・問題リストの修正 説明 ・看護目標設定 ・看護計画立案
第 25 回	看護過程（慢性期）③（担当：全教員） ・看護目標・看護計画 解説と説明（中原） ・グループワーク
第 26 回	看護過程（慢性期）③（担当：全教員） ・評価 経過記録（SOAP・達成度評価） ・看護実践（教育的支援）のための準備について グループワーク
第 27 回	看護過程（慢性期）④（担当：全教員） ・事例への看護実践① 立案した目標・計画に沿った場面を設定し、模擬患者へ実施する 実施後に全体ディスカッションを通して学びを深める
第 28 回	看護過程（慢性期）④（担当：全教員） ・事例への看護実践② 立案した目標・計画に沿った場面を設定し、模擬患者へ実施する 実施後に全体ディスカッションを通して学びを深める
第 29 回	看護過程（慢性期）⑤（担当：全教員） ・評価 サマリー 解説と説明（中原）
第 30 回	看護過程（慢性期）⑤（担当：全教員）

	・グループワーク・まとめ
テキスト	永田明、石井ふみよ（監）：看護がみえる vol.4 看護過程の展開 メディックメディア 看護がみえる vol.5 対象の理解Ⅰ メディックメディア リンダJ. カルペニート：看護診断ハンドブック第12版 医学書院 医学書院 系統看護学講座 消化器 医学書院 系統看護学講座 臨床外科看護総論 基礎看護学演習（看護過程）、形態機能学、疾病各論、薬理学、看護のための臨床検査、成人看護学概論、成人慢性期看護方法論、成人急性期看護方法論で学んだ既習の知識及び生活・診療援助技術の確認をしましょう。 必要なテキスト・資料類は授業に持参しましょう。 2年次の看護過程論の資料を持参しましょう。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	成人看護学概論、成人慢性期看護方法論および成人急性期看護方法論で用いた教科書・資料 マジョリー・ゴードン著、江川隆子訳：ゴードン博士の看護診断アセスメント指針 照林社 臨床検査学、薬学、疾病学、形態機能学、基礎看護学等に関連する図書・資料 山勢博彰 山勢善江 編 成人看護技術 慢性看護 メヂカルフレンド社
課題に対するフィードバックの方法	毎回の課題提出については全体に対してコメントを行います。
学生へのメッセージ・コメント	演習内容の詳細については、別途資料を配布します。 反転授業を行います。毎回、グループワークの前準備として、個人ワークの課題を出します。グループワークに効果的に参加するために既習の科目や関連図書を参考にして準備をしましょう。 事前に You Tube「看護がみえる 看護過程の展開」を視聴しましょう。 技術については、事前に動画視聴を行い、演習に臨みましょう。講義内で指示します。 *「ストーマ造設した患者の看護」は、外部講師の予定、実習室の空き状況により進行順を変更、補講日に開講する可能性があります。